

免疫クラスター

(代表：医学部微生物学・免疫学 吉村昭彦)

免疫系は、臓器を持たないシステムである。全身に分布するマクロファージや樹状細胞などに加え、血管系を循環する様々な白血球、血管系とリンパ系を循環するリンパ球が複雑な相互作用をすることによって機能する。様々な微生物や寄生虫に対する感染防御は免疫系の重要な役割であり、上皮細胞のバリアー機能とともに効率的な免疫系の活性化が感染体の効率の良い排除につながる。一方で、免疫系の不必要な活性化はアレルギーや自己免疫疾患につながり、事実多くの疾患に免疫異常が関わることも良く知られる。従って、免疫研究は生物学としての興味深さや意義深さに加え、疾患の理解や治療法の開発といった側面から社会的意義の高い学問分野である。本クラスターは「信濃町クラスター」の一つであり、下記の研究室から構成される。具体的な研究内容については、各々のホームページを参照していただきたい。興味のある研究室については、ラボツアーに参加して、具体的な研究内容の議論をしたり、設備の見学を行うことができる。また、免疫学関係の様々な講義・セミナーが行われるので、各人の興味とニーズに合わせて受講し、研究能力の向上と基礎力充実に努めて欲しい。さらに、特に希望する場合には、研究室責任者と相談の上、ラボ・ミーティングに参加し、解明すべき目標の設定、それを解決するためのアプローチ、得られたデータの解釈、その後の方針の立て方等、研究者として必要な能力の向上のためのトレーニングを受けることもできる。

キャンパス	所属	研究室責任者	研究室 URL
信濃町	医学部・解剖学	相磯 貞和	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/anatomy/ndd/
信濃町	医学部・微生物学・免疫学	小安 重夫	http://www.koyasu.umin.ne.jp/
信濃町	医学部・微生物学・免疫学	吉村 昭彦	http://www.immunoreg.jp/
信濃町	医学部・先端医科学研究所	河上 裕	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/admedres/index-jp.html
信濃町	医学部・内科学	日比 紀文	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/index-jp.html
信濃町	医学部・内科学	石坂 彰敏	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/medicine/pulmonary/index.html
信濃町	医学部・皮膚科学	天谷 雅行	http://web.sc.itc.keio.ac.jp/derma/index.html
芝共立	薬学部・生化学	笠原 忠	http://www.pha.keio.ac.jp/laboratory/

A) ラボツアー

(薬学研究科の学生は選択必修、医学研究科の学生は希望者のみ)

上記リストのうち、薬学研究科の学生は信濃町キャンパスの研究室のうち1つ以上を各自が選択して研究室見学を行う（医学研究科の学生については、希望者のみとする）。免疫クラスターに配属された学生の中からハウプトを一名選び、見学する研究室を学生間で全体調整した後、代表の学生が各研究室責任者と事前に連絡をとって日時等を決定する（混乱を避けるため、日程調整はグループ単位で行うこと）。

B) 講義・セミナー

信濃町キャンパスで開催される下記の「選択必修講義・セミナー」の中から最低 1 コマ以上受講し、大学院 GP の HP からダウンロードした書式でレポートを作成して提出すること。他に、希望があれば、下記の「自由選択講義・セミナー」を聴講することができる。なお、「選択必修講義・セミナー」は主に研究に関する内容を扱うものであり、「自由選択講義・セミナー」は、主に研究の基盤となる教科書的な内容を扱うもの、及び、芝共立キャンパスで開催されるセミナー等である。

1. 免疫クラスター選択必修講義・セミナー

(免疫クラスターに参加している学生は、所属研究科に関わらず、下記のうちから最低 1 コマ以上受講することが必要。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。)

1) 「特別セミナー」

信濃町キャンパスで開催される免疫学関係セミナーの中から相応しいものを指定する。大学院 GP の HP に随時掲載するので、各自参照のこと。

6月8日 午後6時開始 総合医科学研究棟1階ラウンジ

Janko Nikolich-Zugich博士 (Oregon Health and Science University)

「To be annouced」 (英語)

6月15日 午後6時開始 総合医科学研究棟1階ラウンジ

Jo Rae Wright博士 (Duke大学)

「Role of epithelial and immune cells in the lung (仮題)」 (英語)

2) 「大学院医学特別講義」(信濃町キャンパス): すべて英語。

月・日・曜日	時限	場所	講実	タイトル	担当者	備考
4月8日(水)	18:00~19:30	孝養舎 202	講義	研究者の倫理	相磯貞和	解剖学
4月21日(火)	14:45~16:15	孝養舎 405	講義	造血システム (研究のヒント)	須田年生	発生分化生物学
4月22日(水)	18:00~19:30	孝養舎 202	講義	Interaction between cancer cells and immune system	河上 裕	先端医科学研究 所
7月1日(水)	18:00~19:30	孝養舎 202	講義	サイトカインシグナル伝達と制御機構	吉村昭彦	微生物学・免疫学

「大学院特別講義」(芝共立キャンパス): 英語。

7月13日	月	5	講	第5回: サイトカイン、ケモカインの発見とその後の進展	J.J.Oppenheim (NIH, NCI)	学外
-------	---	---	---	-----------------------------	-----------------------------	----

2. 免疫クラスター自由選択講義・セミナー

（免疫クラスターに参加している学生は聴講可能。今後追加予定であり、下記についても日程等変更の可能性もあるため、最新情報は大学院 GP の HP を各自参照のこと。）

1) 「修士課程講義：分子病態学」（信濃町キャンパス新教育研究棟セミナールーム5）

日時	曜日	時限	講義・実習	テーマ	講師	
4月10日	金	1	講	病理学（1）：概論	岡田保典	
		2	講	病理学（1）：概論	岡田保典	
4月17日	金	1	講	病理学（2）：炎症・免疫病理	岡田保典	
		2	講	病理学（2）：炎症・免疫病理	岡田保典	
4月24日	金	1	講	病理学（3）：細胞・組織傷害と修復	山田健人	
		2	講	病理学（3）：細胞・組織傷害と修復	山田健人	
5月1日	金	1	講	病理学（4）：循環傷害の病理	広瀬茂通	
		2	講	病理学（4）：循環傷害の病理	広瀬茂通	
5月8日	金	1	講	微生物学（1）：細菌学	松尾光一	
		2	講	微生物学（1）：細菌学	松尾光一	
5月15日	金	1	講	微生物学（2）：ウイルス学	吉村昭彦	
		2	講	微生物学（2）：ウイルス学	吉村昭彦	
5月22日	金	1	講	病理学（5）：腫瘍（1）	坂元亨宇	
		2	講	病理学（5）：腫瘍（1）	坂元亨宇	
5月29日	金	1	講	病理学（6）：腫瘍（2）	坂元亨宇	
		2	講	病理学（6）：腫瘍（2）	坂元亨宇	
6月5日	金	1	講	免疫学（1）	藤猪英樹	
		2	講	免疫学（1）	藤猪英樹	
6月12日	金	1	講	免疫学（2）	藤猪英樹	
		2	講	免疫学（2）	藤猪英樹	
6月19日	金	1	講	感染症	竹内 勤	
		2	講	感染症	竹内 勤	
6月26日	金	1	講	法医学	藤田真幸	
		2	講	法医学	藤田真幸	
7月3日	金	1	講	発生・分化・造血システム	須田年生	
		2	講	発生・分化・造血システム	須田年生	
7月10日	金	1	講	臨床薬理	谷川原祐介	
		2	講	臨床薬理	谷川原祐介	
7月17日	金	1	講	病因論・疾患概念：炎症性腸疾患	日比紀文	
		2	講	病因論・疾患概念：慢性肝炎	齋藤英胤	

2) 「分子薬学総論Ⅱ」(芝共立キャンパス 2号館462会議室または、
3号館5F 大学院セミナー室 0503)

6月10日	水	1	講	第1回：サイトカイン、ケモカインと免疫病態	笠原 忠	
		2	講	第2回：自然免疫機構における病原体認識機構	三宅健介	学外
6月17日	水	1	講	第3回：代謝疾患と病態代謝(病態生化学)	園田よし子	
		2	講	第4回：先天性免疫細胞による自己認識	松本直樹	学外
6月24日	水	1	講	第5回：サイトカイン・増殖因子のシグナル伝達機構	多胡めぐみ	
		2	講	第6回：病態モデル動物、遺伝子改変マウス(病態生化学)	笠原 忠	
7月1日	水	1	講	第7回：免疫学、最近のトピックス	笠原忠、園田よし子ほか	
		2	講	第8回：がんの転移とシグナル伝達、最近のトピックス	園田よし子, 多	

なお、分子薬学総論Ⅱの講義は、学部3年次に、C10 生体防御 (1)身体を守る、(2)免疫系の破綻・免疫系の応用、で24コマの講義を受けていることを前提にした講義である。

3) 漢方医学講座(信濃町キャンパス新教育研究棟講堂2)

実施日	時限	講実	タイトル	担当者	備考
6月11日(木)	3	講義	漢方の複雑系をどう科学するか?	山本 雅浩	医学部自主選択科目
6月11日(木)	4	講義	漢方エキス製剤の適正使用と医療経済	赤瀬 朋秀	医学部自主選択科目
6月18日(木)	3	講義	漢方で再生医療?	阿相 皓晃	医学部自主選択科目
6月18日(木)	4	講義	漢方講義のまとめ	渡辺 賢治	医学部自主選択科目

C) ラボ・ミーティングへの参加(希望者のみ)

クラスター内で、それぞれの研究室のラボ・ミーティング等に参加を希望する場合は、研究室責任者が承認した範囲内において、事前連絡して守秘義務を負った上で、参加することができる。個人情報等諸般の事情により、研究室責任者が参加を認めないミーティングもありうるので、必ず事前に研究室責任者に直接問い合わせること

1) 信濃町キャンパス

各研究室の連絡先は、前述の各 URL 等を参照。

2) 芝共立キャンパス

生化学講座ラボミーティング(担当：笠原 忠、園田よし子、多胡めぐみ)

内 容：文献紹介、リサーチセミナー(卒論生には、薬学英语演習)：

大学院生ならびに卒論生による免疫、生化学領域の文献発表、リサーチの進捗状況の報告を行う。

日時と場所：毎週木曜日、5限目(16:30-18:00) 2号館156講義室

(原則として、上記の日程であるが、都合により、日時や場所を変更する場合がある。日程と担当者は4月以降に配布する。)